

事業番号	事務事業名	苦田ダム周辺管理事業費			所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00311	政策名	2	地域経済を支える里づくり			係名	担当者・シート作成者	築山 美津子
	施策名	25	観光の振興			根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	苦田ダム建設に伴い周辺に整備された公園及び公衆便所等の維持管理を国交省苦田ダム管理所との契約により実施している。 除草面積142,327㎡、公衆便所3箇所。経費の一部は国交省が負担。 具体的な業務として、国交省との契約業務、管理委託業者との契約業務及び業務管理を実施し、ダム周辺の環境維持に努めた。	平成17年の苦田ダム完成に合わせ、周辺の管理を町に移管されたことから始まった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア ダム周辺公園	ア 公園敷地面積(町管理分)	㎡	見込 実績	142,327 142,327	142,327 142,327	142,327 142,327	142,327	142,327
イ ダム周辺公衆便所	イ 公衆便所数	箇所	見込 実績	3 3	3 3	3 3	3	
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 公園を訂正に維持管理する	ア 適正に維持管理できた公園面積	㎡	目標 実績 達成率	142,327 142,327 100.0%	142,327 142,327 100.0%	142,327 142,327 100.0%	142,327	142,327
イ 公衆便所を適正に維持管理する	イ 適正に維持管理できた公衆便所数	箇所	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	3
ウ 多くの人に訪れてもらう	ウ 苦田ダム来訪者数	人	目標 実績 達成率	60,000 91,949 153.2%	60,000 32,922 54.9%	60,000 13,282 22.1%	60,000	60,000

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 除草	ア 除草回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ 公衆便所清掃	イ 公衆便所清掃回数	回	目標 実績 達成率	364 364 100.0%	364 364 100.0%	364 364 100.0%	364	364
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業 06					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		15 06 苦田ダム周辺管理事業費					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	00311
国庫支出金	6,600	7,500	8,800	7,000	7,000	1,300	国庫支出金	7,029	7,106	8,855	7,000	7,000	1,749	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	5,414	6,245	7,385	6,649	6,649	1,140	一般財源	4,790	6,059	6,558	6,649	6,649	499	
合計	12,014	13,745	16,185	13,649	13,649	2,440	合計(A)	11,819	13,165	15,413	13,649	13,649	2,248	
財源名称	苦田ダム管理作業委託金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	80	80	80	80	80		
							人件費計(千円)(B)	280	267	268	274	274	1	
	最終予算額		16,185 千円		予算執行率		95.2%	トータルコスト(A+B)		12,099	13,432	15,681	13,923	13,923
主な 支出事業内容 (予算)	需用費				2,942 千円		主な 支出事業内容 (決算)	需用費				2,778 千円		
	委託料				12,891 千円			委託料				12,404 千円		

事業番号	00311	事務事業名	苦田ダム周辺管理事業費	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	-------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? トイレ施設の老朽化や土地の荒廃が進む中、維持管理費は上昇する傾向にある。この一方で平成21年度から国庫補助の上限を500万円までとされたため、一般財源の上昇を抑えるのに苦慮している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 維持管理費を抑えるため、公衆便所については農業集落排水への接続や、除草については諸経費率を見直すなどして経費増大の抑制に努めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 箱の杜公園は年々利用者が増加している。こうしたことから、公園やトイレについてはいつもきれいにしておいてほしいといった要望が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	町の観光資源である苦田ダム(奥津湖)周辺の管理を行うものであり、施策の「観光の振興」に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)		
有効性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	国土交通省と町との間で協議され現状に至っている経緯があることから維持管理していく義務はあるが、維持費についてはあまりにも町の負担が大きいと考える。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は苦田ダム及び周辺の公園などを訪れる町民や観光客であり、観光振興を目的に周辺環境や景観保全を行うものであることから、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	多大な維持管理費を投入すればダム湖周辺を年間にわたって美しく維持することができると思うが、町の財政状況から見て現状以上に費用をかけていくのは不可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	ダム湖周辺が荒れ放題の荒廃した土地になり、観光客や町のイメージダウンにつながる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	維持管理について、国土交通省と町との協議で現状に至っているが、トイレなど不必要と考える施設は撤去したり、部分的に除草しなくても良い工事等施すことで、維持費の抑制は出来ると考える。
目的 妥当性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	公園に草の生えないような工事等を行えば、除草等の管理費は大幅に削減できるが、現実としては難しい。
有効性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	職員1名が兼務で業務を行っており、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象は、町民及び県内外の利用者・観光客であり、妥当である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	目的妥当性であるとか効率性、公平性について基本的には適切であるとする。ただ、国土交通省との協議により周辺の土地管理について移管された経過があり、ダムは町にとつての重要な観光資源ではあるものの、これ以上の管理経費増大を招かないよう現状の管理等検討する必要があると思う。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ダムを含めた周辺環境を総称して観光資源として捉えるかどうか大きな問題である。財政面だけを考えれば、除草費用に多大な経費をかけることは有効ではないが、観光資源とした場合、景観整備は必要であり、その効果により観光客の増加を見込み町を活性化させるといった考え方もできる。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
維持管理について、苦田ダムが完成した当時の町との契約と現在を比較すると、町の負担割合が増加している。こうしたことから、今後の維持管理の方法について最善の方法を考える必要がある。																									